

カリキュラム一覧

専門分野別研修 ①乳児保育

* 修了証の交付を受けるためには、すべての研修を受講する必要があります。



| No. | テーマ | 内容 | 講師名 | 日時 | 会場 |
|-----|-------------------------------------|---|--|--------------------------|----------------------------|
| 1 | 主体性と意欲を育てる乳児保育とは | 小学校に進むまでの一日の大半を過ごす園で、子どもたちが毎日を幸せな時間だと感じることができるために、保育者はどのような環境をつくり、どのように関わっていくことが必要なのでしょう。乳児期に育てて欲しい力と大切にしたいことを育児担当保育の実践から学びましょう。 | 樋口正春氏 保育創造セミナー | 7月24日(月) 10:00-16:30 | たかつガーデン たかつ全室 (8階) |
| 2 | 乳児の発達と遊び・環境 | 子どもの姿から個々の子どもに適した遊びを提供するためには、子どもの育つ道筋や特徴を踏まえるなど、発達の過程を理解することが大切だといわれています。子ども自らが遊べるよう、発達に応じた遊びと環境(構成)について学びましょう。 | 瀧 薫氏 城東よつば こども園 大阪芸術大学 短期大学部 | 9月4日(月) 10:00-16:30 | |
| 3 | ・乳児保育で大切にしたいこと ・乳児保育の指導計画、記録及び評価 | 乳児保育は乳児期の発達特性を理解し、一人ひとりの子どもの姿や思いをくみ取り理解することが大切です。保育指針で3歳未満児の子どもの育ちが非常に重要視される中、育ちを担う保育者の役割は益々大切になってきています。子ども理解と遊び理解を深めるための実践の記録や、子どもの育ちの過程を保育者同士で共有しながら保育の質を高めていく乳児期の保育について学びましょう。 | 阿部和子氏 大阪総合保育大学 | 12月19日(火) 10:00-16:30 | エル・おおさか 南館 南ホール (5階) |

専門分野別研修 ②幼児教育

* 修了証の交付を受けるためには、すべての研修を受講する必要があります。

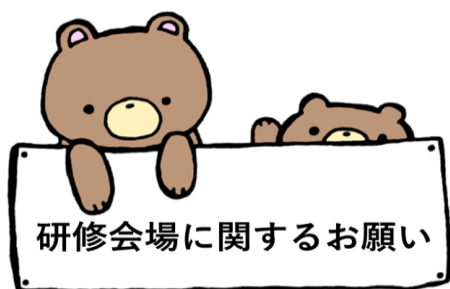
| No. | テーマ | 内容 | 講師名 | 日時 | 会場 |
|-----|--|---|--|--------------------------|--------------------------|
| 1 | 幼児の遊びと環境 ～豊かなごっこ遊びの発展を～ | 遊びを中心とした保育の中で育つ子どもたち。自己を十分に発揮しながら、友だちと協調して遊びを創り出す幼児のごっこ遊びへと発展していきます。そのためにはどのような環境構成や援助が必要なのでしょう。実践から学びましょう。 | 瀧 薫氏 城東よつば こども園 大阪芸術大学 短期大学部 | 7月19日(水) 13:30-16:30 | たかつガーデン たかつ全室 (8階) |
| 2 | ・幼児教育で大切にしたいこと ・保・幼・こ・小接続の「いま」と「これから」 | 環境を通しての主体的な活動や遊びから、子どもたちは様々なことに気づき、意欲が育っていきます。「育みたい3つの資質・能力」と「育ってほしい10の姿」をどうイメージし、小学校につなげていけばよいのでしょうか。小学校との接続について学びましょう。 | 瀧川光治氏 大阪総合保育大学 | 8月24日(木) 10:00-16:30 | |
| 3 | 遊びを中心とした指導計画と子ども理解に基づいた記録・評価 | 一人ひとりの子どもの姿を丁寧に捉え、子どもを理解する中で保育・教育課題が見えてきます。保育者は実践記録を基に子どもが抱えている課題や遊びをチームで読み解き、実践をふりかえることが大切です。子ども理解に基づいた記録・評価など、保育・教育において大切なことは何かを学びましょう。 | 中橋美穂氏 大阪教育大学 | 9月5日(火) 10:00-16:30 | |
| 4 | 関係性を大切にしたい幼児教育 ～主体としての心を育む保育・教育とは～ | 保育指針等ではこれまで以上に子どもの主体性を育むことが重要視されています。またその中で示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」に対して懸念や誤解が生じています。今、子どもの育ちにとって何が大切なのか、また、どのようにして子どもの主体性が育つのか、そのための保育実践のあり方など、「主体としての心を育む保育・教育」について学びましょう。 | 大倉得史氏 京都大学 | 11月18日(土) 13:30-16:30 | たかつガーデン たかつ東中 (8階) |



専門分野別研修 ③障がい児保育

*** 修了証の交付を受けるためには、すべての研修を受講する必要があります。**

| No. | テーマ | 内容 | 講師名 | 日時 | 会場 |
|-----|---|--|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1 | 発達障がいのある子どもの支援と保育者の関わり | 発達障がいと思われる子どもたちは園において何に困り、どのような支援を必要としているのでしょうか。事例をもとに、子どもの理解、集団の中で他児と共に育ちあえる環境構成や援助について、具体的に学びましょう。 | 鶴 宏史 氏 武庫川女子大学 | 7月10日(月) 13:30-16:30 | 大阪府社会福祉会館401 (4階) |
| 2 | 一人ひとりの障がいを理解し、適切な支援を学ぶ～困っている子どもへの支援・指導計画～ | 子どもが何に困っているのかに気づくことが支援の第一歩だといわれています。子ども一人ひとりの違いを受けとめ、社会性やコミュニケーション、こだわりなど、それぞれの支援のポイントについて学びます。また、障がいのある子と共に育つ保育・教育の実現に向けて必要な環境、遊び、生活の具体的な手立てなど、支援計画の立案演習を通して学びましょう。 | 伊丹昌一 氏 梅花女子大学 | 8月9日(水) 10:00-16:30 | たかつガーデン たかつ全室 (8階) |
| 3 | 発達障がいのある子どもの理解と援助 | 様々な表情を見せる子どもたちとどのように向きあえばよいのでしょうか。発達障がいへの理解が高まる一方で「〇〇だから…」と特性で見えてしまいがちな状況も見受けられます。発達障がいかどうかではなく、子ども自身がどのような世界を感じ、捉えながらその子なりに生きているのかを理解する視点が求められます。目の前の子どもたちを思い浮かべながら、学びましょう。 | 木曾陽子 氏 大阪公立大学 | 9月13日(水) 13:30-16:30 | 大阪府社会福祉会館401 (4階) |
| 4 | 仲間と共に育ちあう保育・教育とは | 「Aちゃんはいつもお部屋にいない」「でも、虫を発見するのは得意やで」など子どもの見せる姿に悩んだり、子どもの気づきに嬉しくなったりと、一喜一憂する日常だと思います。子ども一人ひとりの個性が尊重され、共に育ちあうクラスづくりを目指すためにも、関わりのステップを理解し、ワークを通しながら「共生保育の実現とは」を考えていきましょう。 | 杉本節子 氏 ちゃいるどネット 大阪 | 10月30日(月) 13:30-16:30 | |
| 5 | 障がい児保育において、個々の発達を理解し、保護者に対応し、関係機関とつながる手立て | 発達障がいの子どもの行動の理由と対応、保護者対応、療育機関との連携について、保育者が役割の範囲内で行えることは何かを学びましょう。 | 野藤弘幸 氏 クローバー 自立支援センター しまもと | 11月20日(月) 13:30-16:30 | |



☆ 一日研修のお昼休憩について、各会場の施設管理者の指導、飛沫・接触感染防止の観点等から館内への食物の持込ができません。昼食は館外をご利用ください。

☆ 施設によっては専用駐車場がございません。ある場合でも、主催者側で来場者用の駐車場は確保しておりません。

気象警報発令時及び緊急時における研修等の取り扱いについて

☆ 一日研修は研修日当日の午前7時の時点、午後の半日研修は午前11時の時点で、「大雨、暴風、暴風雪、洪水、大雪などの気象警報」が大阪府内に発令されている場合、研修を延期いたします。

< 研修の延期については、当法人のホームページでご確認ください。 >

< HP : <https://www.childnet.or.jp/> >

